

会 議 録

| | | | |
|------------------------|-------|--|------|
| 会 議 名 | | 第7回かわにし創生総合戦略推進会議 | |
| 事 務 局 (担当課) | | 総合政策部政策創造課 | |
| 開 催 日 時 | | 令和2年1月20日(月) | |
| 開 催 場 所 | | 市役所4階 庁議室 | |
| 出 席 者 | 委 員 | 伊藤 伸 委員、片山 優子 委員、福嶋 浩彦 委員、 三坂 友章 委員、山本 利映 委員 | |
| | そ の 他 | | |
| | 事 務 局 | 越田市長、松木総合政策部長、船木総合政策部副部長、 的場政策創造課長、野田政策創造課長補佐、 中村、富永、名塩、多田 | |
| 傍聴の可否 | | 可 | 傍聴者数 |
| | | 0人 | |
| 傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由 | | | |
| 会 議 次 第 | | 1.開会 2.議事 (1)第2次川西市総合戦略最終案について (2)第2次川西市総合戦略の答申について 3.閉会 | |
| 会 議 結 課 | | 別紙審議経過のとおり | |

審議経過

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|--|
| 事務局 | <p>お時間がまいりましたので、第7回 かわにし創生総合戦略推進会議を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>本日、三坂委員は途中からご参加される予定です。</p> <p>本日の議題は、「第2次川西市総合戦略最終案について」「第2次川西市総合戦略の答申について」となっています。本日も活発なご議論をいただけたらと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、議事録作成のためマイクの音声を録音しております。</p> <p>お手数ですが、ご発言の際は、マイクを手に持って話していただくようお願いいたします。</p> <p>それでは、福嶋会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。</p> |
| 福嶋会長 | <p>皆さんどうぞよろしくお祈いします。</p> <p>前回、答申をと思っておりましたが、中間答申という形になりました。</p> <p>事務局の皆さん本当にご苦労されたと思うのですが、取組内容をメールで送っていただき、それに対して私たちが意見を出しましたが、取組みの内容そのものがまだ各部局との調整が十分できていないということでしたので、これだと答申までもっていくのは難しいという最終的な判断でした。</p> <p>今日は答申できると思っておりますので、どうぞよろしくお祈いいたします。</p> <p>では最終案という形で示していただいて、特に修正点の説明を中心に、事務局からお祈いします。</p> |
| 事務局 | <p>前回皆様方からご意見をいただきました取組内容と、12月に開催された市長と市民の方々のタウンミーティングで出た意見を踏まえ、修正しております。限られた時間でございますので、修正箇所、ポイントを絞って説明させていただきます、できるだけ議論する時間をとりたいと考えておりますのでよろしくお祈いいたします。</p> <p>1ページは文章の修正のみのため、2ページをお願いいたします。</p> <p>2行目、今回我々がプロセスとして大事にしたところで、「市民」を強調するため、「まちづくりの主役は行政ではなく、市民であるため」ということを追加しております。以降、いくつか文章の修正をしております。</p> <p>次に3ページをご覧ください。</p> <p>総合戦略の基本的な考え方(1)何気ない日常に幸せを感じるまちづくりの1行目から2行目のところを修正しております。</p> <p>当初、見え消しのところですが、「子ども・高齢者・障がい者など」の文章を赤い字で記載しているように「子どもから高齢者まで、障がいがある人もない人も」としてしております。右側の4ページでは注釈を入れております。</p> <p>第2章以降は注釈が一番下や真ん中になっていますが、今回は見え消しの関係でこのようにしております。最終的には全体的に統一して下に入れる方</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-----|---|
| | <p>向で考えております。</p> <p>一番下でございますが、取組内容について内容を変更した場合とか、或いは実施が困難になった場合のところでは、</p> <p>この部分は理由を公表しますということでしたが、市民会議で行われた議論という過程、プロセスがございますので、その議論を踏まえた上で、その理由を公表しますというような形で文章を追加しております。</p> <p>第2章につきましては大きな変更点はございませんので省略させていただきます。次に17ページをご覧ください。</p> <p>以前、総合戦略の基本的な考え方のところを(1)から(3)までを3つ並列のような図で表現しておりました。</p> <p>ただ、推進会議のご意見で「何気ない日常に幸せを感じるまちの実現」が一番大きな目標だというご指摘もありまして、1行目から4行目の文章を修正するとともに、17ページの一番下のイメージ図でも「市民とともに歩むまちづくり」で重点戦略1から4を進め、「川西の良さを大切にしたい新たなまちづくり」を大事にしながら、最終的に「何気ない日常に幸せを感じるまちづくり」を実現することをめざすというような表現とイメージ図を追加しました。</p> <p>また、17ページの最後の段落でなお書きの部分を追加しております。「なお、誰もが健康で、何気ない日常に幸せを感じるまちづくりを進めるために、第1次総合戦略で取り組んでいる健康施策は引き続き実施していきます。」という文書を追加させていただきました。</p> <p>こちら、第1章でもそうですが、誰もが健康でというような形の大きな目標を持ちながら戦略のところでは健康に関する施策がございませんでした。</p> <p>第1次総合戦略で健康施策を進めておりますので、第2次総合戦略でもその部分については引き続き実施していくというような文書を追加しております。</p> <p>右側でございます。</p> <p>18ページは以前と内容等は変わりませんが、以前イメージ図で横長の図をつけておりました。その中で、我々がいろいろ工夫しているのは、市民会議からの提案がどこの戦略に行ったのかということができるだけわかりやすく表現するということです。しかしタウンミーティングでの市民からの意見などで、結びつきや文字が複雑になっていてわかりづらいというご意見をいただきました。</p> <p>そこで今回は重点戦略と市民から提案の部分を大きく見せながら、どの提案がどの戦略に行ったかというのは、19ページで言いますと、市民会議からの主な提案というところでは、のちのち戦略本体のところにも出てきます。</p> <p>例えば20ページの施策1の市民会議からの主な提案の1つ目の後に【2班提案1】という表記をつけました。提案した意見がどこに反映されているかをわかりやすくしております。</p> <p>次に戦略ごとの具体的な変更点でございます。</p> <p>まず重点戦略1でございますが、推進会議の委員の方のご指摘で、今回、市民会議からの提案で、保護者や子育て世帯の方が言っておられたのは肉体的精神的な負担が大きいところではないかというようなご指摘をいただき</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-----|---|
| | <p>ました。それを重点戦略1のリード文1行目から2行目に追加しております。</p> <p>続いて施策1でございます。</p> <p>最初のタイトルは、「みんなで子育てを支援し、支援する環境づくりに取り組めます」としておりましたが、市民会議からの提案を再度見ている中で、みんなで子育てを支援し、寄り添うというところが大事だということで修正しております。</p> <p>以降、修正している部分は、推進会議の委員の方からご指摘いただいた、市民会議からの主な提案や施策の方向性、取組内容の並びについて、整っていないというところを赤字で表記しました。</p> <p>先ほど会長からおっしゃっていただいた取組内容のところでございますが、21ページの中段、この取組内容というのが、以前推進会議で進めさせてもらった取組内容でございます。その取組内容をより具体的にわかりやすくお伝えするために、21ページの後段取組内容の修正後ということで取りまとめしております。</p> <p>以降戦略につきましては、このような形でまとめております。</p> <p>次に22ページ、23ページでございます。こちらも、もともとあった施策の方向性、取組内容を具体的に記載しました。</p> <p>次に、24ページです。施策4の市民会議からの主な提案について、「不登校」の文言を追加しております。</p> <p>次に、28ページの指標の部分をご覧ください。今回、取組内容について具体的に検討して参りましたので、指標を設定しました。一番上はアウトカムで、市民の方がどういうふうに感じているかというところをしっかりと測っていきたいと考えています。毎年1,000人の方を無作為抽出し、1年に一度、市民実感調査しておりますので、今後もそれを調査しながら図っていきたいと考えています。</p> <p>26ページの一番下ですが、一つ事業を進めるために、参考として年度ごとの件数等を示しています。目標値がないので指標を設定させていただきました。こちら例えば、二つ目のいじめや不登校の人数・件数のところで、不登校の人数を減らすことだけが目標ではなく、あくまでもこの実態を見て、市としてどういう取り組みをしていったらいいか、そこが大事になってくるかと思っておりますので、ここの4項目については目標値を設定しておりません。</p> <p>2点修正させていただきます。いじめや不登校の相談件数が見え消しとなっておりますが、ここを現在教育委員会に確認しており、集計中ということでご認識いただければと思います。</p> <p>次に、重点戦略2です。</p> <p>28ページ、29ページをご覧ください。こちらについても戦略1と同じように修正しております。</p> <p>推進会議の委員の方から具体的な数字が入るところは数字を入れたほうがいいのではというご意見いただきました。</p> <p>28ページの施策1の2段落目、「自治会では加入率は年々低下」というところの、低下している状況が分かる数値を入れました。</p> <p>29ページの施策の方向性については、全体的に今回の戦略は施策に沿うような形で、修正をさせていただいております。以降の取組内容につきましては</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-----|---|
| | <p>は、先ほど申し上げましたように戦略1と同じです。</p> <p>30、31ページをご覧ください。</p> <p>30ページの施策2でございます。当初「誰もが働きやすい環境整備をします」というタイトル施策にしておりましたが、こちらを「市内で働ける環境を整えます」に変更しています。</p> <p>現状と課題の2段落目、「そのため、」のところで、子育てや介護中の方、当初は学生としていたのですが、市としては第1章のリード文にあるように障がいのある方もない方も含めて「誰もが」という思いがあることから、このようにしております。その中では、障害者の方々が市内で働ける環境も大事であろうということから、その部分を「障がい者など」ということに修正しまして、施策の方向性の4番目、或いは取組内容のところにも障がい者に関わる内容を修正しました。</p> <p>次に、32ページ33ページです。もともと、こちらの戦略につきましては、施策は2つで構成されていましたが、我々のほうで内容を再度検討した結果、市民の方々や民間事業者の力を活かすということも大事だという認識から、ここに施策を1つ設け、重点的に行っていく項目をまとめました。</p> <p>33ページでございますが、指標の一番上、新設で「自分の力を活かせる場所がある」としてありますが、市民実感調査の質問項目を新設して、計画策定までに集計して現状値を入れるということから、今の段階では数値は入っておりません。</p> <p>次に、重点戦略3です。34ページ35ページをご覧ください。こちらは大きな変更点はございません。取組内容を具体的に書いてある部分がございます。</p> <p>36ページ37ページでございます。36ページに空き家の具体的な数字を入れ、取組内容を具体的に書いたという修正点がございます。</p> <p>38ページ、39ページをご覧ください。こちらの指標で1点だけ修正します。</p> <p>38ページの参考指標一番下の箱の中の3つ目、「空き家マッチング制度に登録している空き家件数」と書いてありますが、市では空き家マッチング制度を設けようと思っております。そこに3年間で登録いただいた件数を目標値にしたいと考えております。</p> <p>次に、重点戦略4です。40ページ41ページをご覧ください。</p> <p>以前に推進会議でご議論いただいたときに、重点戦略4が「魅力を再発見し活かせるまちづくり」のほうが良いのではないかとご意見をいただきました。理由といたしましては、この愛着の持てるまちづくりというのが戦略全体の部分にかかるということで、そのようなご提案をいただきました。</p> <p>その内容は理解しておりますが、愛着を持っているというのを我々としては大事にしております。その中で特化した形の取組内容をここにまとめて、戦略のタイトルは「愛着の持てるまちづくり」にさせていただきたいと考えております。</p> <p>例えば施策についても、地域資源を磨き、というようなタイトルや内容もそうですが、施策3では、市民の方々と情報共有するという形にしております。そのような形で愛着をもってもらい、もちろん教育・子育てなど、全体に関わることでありますが、この戦略を含めて、愛着を持ってもらいたいということから、タイトルを一度、前の状況に戻させていただいたというような状況</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| | <p>でございます。</p> <p>それから、リード文でございますが、赤字の最後の行で「さらには、市の魅力が市外にも伝わり、過去に川西に住んでいた人が帰ってきたいと思えるまちづくりをめざします。」という文章を追加させていただきました。</p> <p>推進会議でも川西市から一旦転出されたけれども、戻ってくる方が多いというご意見をいただき、こういった内容が大事ではないかということで追加させていただきました。</p> <p>次に42ページ、43ページでございます。</p> <p>43ページの施策3の現状と課題3段落目「また、本市には…」というところに、先ほどの内容をより具体的に書きまして、「川西市に住んでいる方、或いは市外の人にも、知ってもらうことが大事です、必要です」というような文章を追加させていただいております。</p> <p>最後44ページでございます。ご指摘いただいた「川西に愛着を感じている市民の割合」については削除しております。</p> <p>それ以外の指標につきましては取組内容にあわせて指標を設定させていただきました。</p> <p>なお先ほどの市民会議への提案書がどこの戦略に繋がったというところにつきましては、4章の資料編で市民会議からいただいた提案書をすべて載せることにしています。その前にはどの戦略に結びついたかということができるだけわかりやすく、資料編の一番前のページに持って行って、市民会議に参加いただいた方にわかりやすくしていきたいと考えております。</p> <p>説明は以上です。</p> |
| 福嶋会長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>それではまず1章について意見はありますか。</p> <p>問題がなければ、また戻っていただいてもいいですがとりあえず先に行きましょう。</p> <p>2章修正がないとのことですが、3章は冒頭の部分といいますか、重点戦略1になっていく前までですね、ここではいかがでしょうか。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>19ページの構成で説明書きを書いていたいただいているところですが、ここも含めて、文字に説明が必要なところは各ページの下に注意書きをつけているので、後ろのほうで改めて語句説明のページを作る予定ではないということですね。というのも、施策という言葉自体が何かというのは、市民の皆さんそれぞれで捉え方が変わってくると思います。施策の注意書きは「重点戦略を実現するための施策を記載しています。」となっております、施策という言葉の説明にはあまりないと思います。</p> <p>「施策」を辞書で引くと「方向性を持った事業の束」という書き方をされていますが、それでもわかりにくいです。そこはある意味川西のオリジナルでいいのかなとも思います。普段私が職員研修で「施策」とは何ですかと聞くと、10人いたら10人全然違う答えになります。これは今回市民に向けたものだという姿勢を打ち出す中で、全部が全部対応することは難しいかもしれませんが、そう感じました。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 福嶋会長 | いかがでしょうか。 |
| 事務局 | おっしゃっていただいたとおり、市民の方にはあまりなじみのない言葉のため、わかりやすい説明文を考えさせていただきます。 |
| 福嶋会長 | 「重点戦略を実現するための事業…」 |
| 伊藤副会長 | 「重点戦略を実現するための事業の方向性」では「施策の方向性」とかぶってしまいますね。 |
| 福嶋会長 | 事業の束というのはひとつの事業ではなくていくつかの事業がまとまったものということですよ。その辺りは考えていただくということで良いですか。 |
| 伊藤副会長 | 施策という言葉が多用されているから余計に目立ってしまっていますね。 |
| 福嶋会長 | それでは重点戦略1についてお願いします。 |
| 山本委員 | 少し戻ります。例えば16ページなど、グラフが見つらい箇所があります。ユニバーサルデザインという観点からみると、色が似通っていて、水色と赤色の濃度が近いので、お年寄りの方や目が不自由な方には見えにくいだろうと感じました。それが見やすいかどうかわかりませんが、斜線と点線にして白黒でもわかるようなイメージにされた方が視覚弱者の方も見やすいと思います。 |
| 福嶋会長 | その辺も完成形するとき、改良いただくということによろしいでしょうか。それでは重点戦略1をお願いします。 |
| 伊藤副会長 | 21、22ページの取組内容のところ、プレーパークの文言が変わってきているところがあります。もともと「プレーパークを検討します」になっていたものが今度は21ページの で「プレーパークの開催」になっています。プレーパークの開催ではイベントを指すように感じます。元のイメージはボールを使って自由に遊べる場だったような気がしますが。 |
| 事務局 | 我々も確かに「開催」はイメージしておりません。どちらかという公園の利用ルールを見直して、プレーパークの表現は開設の支援といった、地域で話しながらどういう風なプレーパークの形にしていくかという想定です。これは誤記です。申し訳ありません。 |
| 福嶋会長 | それでは「開設」に訂正ということによろしいでしょうか。 |
| 片山委員 | 「開催」について私もFacebookなどで見た情報ですが、プレーパークをつくるために定期的にミーティングをやっている人たちは、それを開催と呼んでらっしゃるのかなという気がします。 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 福嶋会長 | <p>本格的なプレーパークとして常設設置される前に、ミーティングで開催というイメージのものを設置されるということですね。</p> |
| 市長 | <p>ご指摘のとおり今、キセラ川西せせらぎ公園というところで、週に1回市民の皆さんが自主的に始めているところがあります。</p> <p>色んなところにプレーパークができるわけではなく、イメージとしては市民が開設することを応援していくということです。ハードとしてプレーパークをつくるというよりも、人材育成であったりルールの見直しの間に入ったりと、そういったことをイメージしていました。開設や開催の支援を我々はやりたいと思っています。</p> <p>市民会議の皆さんもおそらくそういう趣旨でご意見があったと思います。遊ぶところがないから、勝手に作ってというより、みんなでつくろうというイメージだったと思いますので、文言を修正させていただきたいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>常設的に設置するものと、公園や、或いはほかの場所を借りて定期的で開催するものが両方あるとすると、定義としては開設の方が広く、両方を包括すると思います。</p> <p>常時開設しているか、時間を決めて開設しているかの違いなので、開催は一時的なものになりますが、開設は両方を含むので言葉としては開設のほうがいいのかもかもしれません。</p> <p>さらに、開催というと、市が何か作るというイメージがあるので支援にしたということですね。開設の支援という感じになると思うのですがよろしいですか。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>そもそもプレーパークの定義はあるのでしょうか。ホームページを調べると「冒険の遊び場」や「危ないこともやるのだ」という場所がプレーパークだというおぼろげなイメージがあります。戦略案にある「子どもがのびのびと遊べるプレーパーク」でイメージがつくのかどうかという不安がありました。川西市の中で、ある程度今やっていることが認知されているのであれば、大丈夫だと思いますが、そうでないなら「プレーパークとは」という説明書きが一行あってもいいのではないかと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>できれば注釈を付けた方がいいということでしょうか。</p> <p>ここの取組内容ですが、「子どもの成長記録や子育てに関する情報共有、予防接種のスケジュール管理など、母子健康手帳と併用が可能で、保護者のニーズに応じたサービスを提供することのできるスマートフォンアプリ」となっています。3行半ぐらいがスマートフォンアプリの修飾語になっています。修飾語が2行以上続くのは、読んでいる方が疲れてしまうと思います。</p> <p>2行目の「母子健康手帳と併用可能なスマートフォンのアプリを令和2年に導入し、」「保護者のニーズに応じた」は後にして、「令和2年度に導入し、保護者のニーズに応じたサービスを提供します。」のように後ろに持ってくると文章が整って読みやすいと思います。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|--|
| 事務局 | <p>で預かりの実施など出てきますが、子育てを経験した方による家事援助、子どもの送迎預かりの実施など、これファミサポでやっておられますよね。これは何か別のことを意味しているのですか。</p> <p>市民会議の中で、我々市が持っている制度を活用されてよかったという方もおられましたが、一方で制度を知らない方もいらっしゃいました。そういった仕組みを利用してもらえるよう進めたいと思っています。実際に利用をどんどんしてもらうことも大事ですが、受け皿としてそういったサービスを提供できる人材が必要であり、その仕組みを考えて検討していきたいということから、さらに、市民の方のニーズにあったようなサービス発展させていきたいというような内容です。</p> |
| 福嶋会長 | <p>ファミサポより使いやすく充実させ、それをPRしますという意味でしょうか。</p> |
| 市長 | <p>市民会議やタウンミーティングでも言われたのが、イメージとしてはお試して使ってみることができたら、そういったサービスが利用してもらえるのではないかとということです。それは当事者のご意見ということで、内部でその方向で協議をしておりました。</p> <p>一方で現場の悩みというのは、実は担い手の方が、今のままではサービスをこれ以上拡大されても、家事援助も預かりも全ては対応できないかもしれないという状況です。</p> <p>行政用語でわかりにくい表現になっていますが、人材の育成や確保も同時に必要だということです。今やっているサービスへ市民の皆さんからアクセスする方法を充実させていくということから始まった文言です。</p> |
| 福嶋会長 | <p>中身はよくわかりましたが、ここで書いてある利用しやすい子育て支援サービスを進めますというのは、施策の方向性の話ですよ。</p> <p>ここは具体的な取組みを書くところなので、それだと施策の方向性に帰ってしまっていると思います。市長が言われたような、ファミサポの内容やサービスへのアクセスについて、「サービス提供体制の充実を図ります」といった具体的な取組みを書いて欲しいと思います。</p> |
| 市長 | <p>初めはお試しクーポンなどの議論もしていましたが、事業名まで固定すると、現場としてはいろんな選択肢が欲しいということでした。先ほどご提案いただいたように、利用しやすい、向上するといった書き方にしたいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>PRと利用しやすい工夫とそれに対応できる体制の充実をやるということですね。できればここを具体的にしてください。</p> |
| 市長 | <p>検討します。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 福嶋会長 | <p>続けて話します。</p> <p>のところ、「子育て世代をはじめ様々な世代の人が気軽に集い、交流や活動を行えるよう、公民館などの公共施設の利用ルールを見直します。」、というのは、どう見直すのか想像がつきにくいかなと思います。</p> <p>後ろの方でいうと「気軽に集い」ではなく「気軽に立ち寄り」という表現のほうが良いと思います。</p> <p>団体利用で事前に申請しなくても、個人で行くと他にも来ている人がいて、そこで交流が生まれることをイメージしているとすれば、「立ち寄り」のほうが、読んだ人のイメージがわくと思います。「集い」だと団体が事前に利用申請するのとあまり変わりません。その違いが出てこないと思います。もし私が言っていた内容で考えておられるのであれば、「立ち寄り」の表現のほうが良いと思います。</p> |
| 事務局 | <p>会長がおっしゃったとおり、市民会議の方々も自分が空いている時間や子どもさんと出かけた時に立ち寄って、相談や子育て世代の方々とお喋りすることができる場があれば良いというイメージでしたので、「立ち寄り」に修正させていただきます。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>ここは市民会議の議論で、「公民館にプレイマットを置くなど誰でも気軽に行ける場所」という話から、この記載内容になっていると思います。イメージがつきやすいように「など」書きで「プレイマットを置くなど」とすると限定化しすぎるため、外しているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>実際にこの市民会議の皆さんからご意見いただいて、そのとおりだなと思いましたが、副会長がおっしゃったように、具体的にどのように公共施設を活用するのがいいのか、まだそこまで書けていません。「など」は例ですが、その辺を書くとそのイメージになるかなと思います。今回の公共施設の利用ルールを見直しながら、取り組みたいと考えています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>プレイマットも子育て世代以外だとわからないかもしれませんね。ここもできる限りわかりやすく表現を工夫してもらおうということでお願いします。他はいかがでしょうか。</p> |
| 山本委員 | <p>21ページのの母子健康手帳について、母子手帳の名称を親子手帳に変えるという話がありましたよね。母子健康手帳でいくのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>ここに書いている母子健康手帳は法律に基づく既存のものです。親子手帳というご議論・ご提案をいただき、議会にもご説明をさせていただきましたが、必ずしも親子関係とは限らず、ご両親がいらっしやらないケースなどいろいろあるのではないかとといったご意見をいただきました。</p> <p>市民会議の中では、子育ては母子でやるものではなく、幅広くやるべきで、当然それは親子だろうという話がありました。名称はアプリを作る段階でご議論をさせていただきたいと思います。母子健康手帳は従来の母子手帳で、</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|---|
| | 法律に基づいていますので、勝手に名前を変えることができなかったため、今回のような記載になっています。 |
| 福嶋会長 | 法律上、母子健康手帳も実際に手帳の名前を変えることはおそらくできません。せっかくそういった議論をされているとしたら、母子健康手帳の名称を工夫しますというようなことを一言ここに入れたら、子育てしている人にとって親しみが出てくるのではないのでしょうか。検討してください。 |
| 山本委員 | 23ページの「留守家庭児童育成クラブにおける保育の質の向上を図るため、担当エリアのクラブマネジメント制度」のイメージが湧かないのですが、どういったものですか。 |
| 事務局 | それぞれのクラブで課題を抱えておられますが、担当エリアごとに課題解決や、とりまとめ役ができる方を配置し、質を向上させていきます。 |
| 福嶋会長 | 今の内容でしたら「担当エリアのクラブマネジメント制度を導入して、各クラブの支援をします」とか。「各クラブの支援、各クラブの充実をサポートします」など、一言入れることでイメージがつくと思います。 |
| 市長 | <p>文言は調整させていただきます。来年度予算に向けてどういう制度にしようかという協議もありますので、我々も書きながら調整をしているところがあります。現状では、各クラブが現場でマネジメントをしており、なにか相談がある場合は社会教育課の課長と直接やりとりになっています。1人2人で見ていくのではなく、実際の現場をサポートし、専門的な知識があり、アドバイスできるような人を配置し、場合によっては現場の手伝いに入れるようにするイメージをしています。</p> <p>人の配置やどういう方に担っていただくかも含めてi n gがありましたので、わかりにくい表現になっております。会長がおっしゃったように「各クラブの支援を行います」というところにしたいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>それをお願いします。他にはいかがでしょうか。</p> <p>似たようなことですが、24ページの取組内容「生活困難な家庭の子どもに対して、学習習慣の定着に向けた支援に加えて、生活習慣の改善に向けた支援を実施します。」これは具体的には何をするのですか。</p> |
| 市長 | 学習習慣の定着に向けた支援は、「きんたくん学びの道場」という事業を小学5・6年生対象に実施しています。ただ、宿題をしましょう、勉強をしましょうというだけでは、支援が必要な子ども達になかなか届かないということがあります。地域の中で学校でもない家庭でもない場所、サードプレイスを中学校区ごとに増やしていくことができれば、そういった勉強ができないという方も来ることができます。また、単に勉強を教える場所にするのではなく、子どもたちの生活からサポートしていくことができます。そこで問題があれば、専門機関に話ができる場所を作っていきたいという思いです。 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 福嶋会長 | 知らない人が見るとわかりにくいですね。そうすると「中学校区ごとに子どもが自由に集う場を作り」と、頭に入れたほうがイメージつきやすいと思います。 |
| 伊藤副会長 | <p>「学習習慣の定着に向けた支援」も、「きんたくん学びの道場」の名称をカッコ書きで入れるとイメージが湧きやすいと思います。</p> <p>「学習習慣の定着に向けた既存の支援制度(きんたくん学びの道場)に加えて」とつなげればよいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | 具体的な名称を入れたほうが分かりやすいという事ですね。 |
| 伊藤副会長 | 26ページの指標のところですが、私は事前に事務局と話をしているのでイメージがつかますが、2つ目の「学校に行くことが楽しいと思う子どもの割合」のところ、「学校に行くことがすべてではない」ということが川西市として打ち出されているため、100%ではなく85%や88%という数字になっていると思いますが、他方で、学校に行くことが前提だと解釈する人もいるのではないかと思います。指標を100%ではなく88%とすることに説明を入れてもいいと思います。88%の根拠というのはどうでしょうか。 |
| 事務局 | 現状、小中学生の割合を増やしたいという想いで、この割合が設定されています。 |
| 市長 | <p>もちろん子どもたちが学校で楽しく過ごせることが非常に望ましいということは、我々としては間違いありません。ただそれが唯一の絶対的な価値観という教育はせずに、学校が嫌でしんどいという子どもがいれば、戻す必要はなく、自分たちで居場所や楽しめる場所があるということのほうが我々としては望ましいと思っています。</p> <p>いじめに関しても、相談件数を目標にするのかという議論はありました。いじめの相談をたくさん出してもらう方が本質的に子どもたちのためになるのではないかと思います。それを数値が上がる・下がるということになると、ミスリードになるということで、現状値を入れています。</p> <p>今ご意見いただきましたので教育委員会と話してみます。ただ、我々としても、楽しいと思わないといけないということではありません。</p> |
| 伊藤副会長 | 自分たちの居場所があるということですね。そのほうがなじむ気がします。 |
| 市長 | 自分たちの居場所があるということが100%であってほしいということですが、そういう数字が、現状値がおそらくありません。これはこれで我々としてももちろん参考として持っておきたい数字です。そこは再度策定までに出していきたいと思います。 |
| 福嶋会長 | もし「学校に行くことが楽しい」でいくとしたら、今市長がおっしゃったようなことを、注意書きで入れるとイメージが変わってくると思います。い |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 市長 | <p>ろんな子どもたちを考えているなというのがわかるのではないのでしょうか。</p> <p>指標の説明ということですね。検討します。</p> |
| 福嶋会長 | <p>一番下、「自分には良いところがあると思う子どもの割合」で中学生で80%が目標値になっていますが、これは大丈夫ですか。なぜ80%なのですか。</p> |
| 事務局 | <p>実は平成30年だけ80%になっており、例年70%或いは60%台でした。現状値は直近値を入れようと思っています。ここは紛らわしいですけども、目標値としては、従来60～70%のものを80%にしたいという意味合いです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>これだけを見ると、中学生だけがずっと80%で今(80.1%)より低いのがわかりにくいですね。</p> |
| 事務局 | <p>現状値がこれなら目標値がこれだとわかりやすいような形で修正させていただきます。</p> |
| 福嶋会長 | <p>現状値を修正するのですか。平成30年で現状値にしているのですよね。</p> |
| 事務局 | <p>現時点では現状値を平成30年にしていますが、市民実感調査も含めて、令和元年度の直近値を入れたいと考えています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>そうすると下がるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>例年60～70%ぐらいになります。たまたま平成30年だけがなぜか80%でした。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>これを事業評価、施策評価の観点で考えると、なぜ目標が88%なのかということをお聞きしたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>その根拠まで教育委員会とすり合わせができておりません。先ほどおっしゃっていただいたように、設定の仕方・意味を含め、目標値を説明できるように、もう一度検討させていただきます。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>子育てがしやすいまちだ」という指標も67%と一桁台で作っているということは、何か根拠を持って設定されているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>総合計画の最終目標値で、平成29年からの5年間で上げていくというものです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>すでにある目標値ということですか。</p> |
| 事務局 | <p>その通りです。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|---|
| 福嶋会長 | <p>もしそうなら、そういう説明をちょっと入れてほしいですね。検討していただくということでお願いします。</p> <p>25ページに戻りますが、取組内容 で「子どもの位置情報を保護者に通知することができる」とありますが、誰が通知するのですか</p> |
| 事務局 | <p>例えばですが、電柱に取り付けたセンサーの前を子どもが通ったら保護者に通知する、或いは地元の方々にもそういう装置を置いてもらうと、子どもが通ったら保護者に通知がいくといった仕組みがございます。そういったICTを活用した取組みができないかということで書かせていただきます。</p> |
| 福嶋会長 | <p>つまりそれはICTが自動的に通知するということですね。子どもの位置情報を保護者に通知するというと、自分の子どもの位置情報を誰かが知っていて、それを通知してくるのかという変な想像をしてしまうと思います。別の第三者が通知するわけではなく、システムが通知するので「子どもの位置情報を保護者が知ることができるような」という表現にするとよいと思います。</p> <p>の通学路の対策っていうのは、道路整備などハードの取組みのことを言っているのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>こちらは市民の方から通学路の対策について、要望があったところから修繕しているのではないかといった意見がございました。通学路対策について教育委員会、道路整備の担当課等と引き続き話をしながら計画的に進めていきたいという内容を書いております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>道路の安全対策ということでしょうか。そのことを入れていただいたほうが意味かわかると思います。</p> |
| 山本委員 | <p>防犯カメラの増設は入らないのですか。</p> |
| 事務局 | <p>防犯カメラは小学校区で10台ずつ設置しています。その部分をAIやICTにするといった手法はあるのですけれども、どちらかという、 のほうで想定しておりまして、 は先ほど会長がおっしゃっていた道路整備の部分を想定しております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>重点戦略2に進みます。</p> <p>28ページにも出てきますが、自治会という言い方と地縁団体という言い方が両方出てきます。これは何か区別しているのですか。</p> |
| 市長 | <p>整理の仕方として、川西市は自治会の単位と概ね小学校区単位のコミュニティ推進協議会がございます。コミュニティ団体とその構成団体である自治会はそれぞれ意思決定や組織が違うため、まとめて地縁団体と我々は位置付けています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>今の説明でわかりましたが、市民の皆さんはわかるのでしょうか。多くの</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| | 市民の方はわかりませんよね。最初の地縁団体のところに、括弧書きで入れてもらおうと良いと思います。 |
| 市長 | 注釈等も含めてわかりやすく書くようにします。 |
| 山本委員 | 33ページの参考指標の下の段で、「市民活動・NPO・起業サポート相談件数」というところで、目標値がかなり大幅に増えています。指定管理の人員が限られている中で、現実的な数値なのかというのが不安ですけれども、いかがでしょうか。 |
| 事務局 | 担当課に数字を確認しました。平成26年から平成27年、平成27年から平成28年にかけて、それぞれ前年比15%実績値が上がっているそうです。今後取組みを進めていくにあたり、それぐらいの上り幅を目標にしたいという想いはあるようです。 |
| 事務局 | 補足して説明しますと、コワーキングスペースの開設を検討しており、その中でまた起業の部分を含めた相談というのも考えています。それも含めて、伸ばしていこうという考えであります。 |
| 福嶋会長 | そうすると、決して無理な数字ではないということですか。 |
| 事務局 | はい。プラスアルファとして取り組んで参りますので、大きく伸ばしていこうという考えでございます。 |
| 伊藤副会長 | 28ページの施策1の現状と課題のところ、「自治会加入率は年々低下している現状がある」と書いています。目標値の中で、自治会の加入状況を記載していないのは、そこを目標にするものではないという考えがあってのことですか。 |
| 事務局 | 自治会についてももちろん加入率を上げていきたいという考えはありますが、いろんな活動の入りかたがあると思っています。 団体と人のマッチングを考えており、地域あるいは市民活動に関わってもらおうという新たな関わり方を提案していくことも考えております。直線的に自治会の加入率を上げていくのは難しいと思っています。 |
| 伊藤副会長 | 今の話では、一番上の指標である「自分の力を活かせる場所がある」の中には、自治会に入っている人もいれば、自治会には入らないが子育てサークルに入って活動する人も含むというふうに読むということですか。 |
| 事務局 | そうですね。そういった形で関わりたいという若い方は結構おられるようですので、そういったところに入っていくのかなと考えております。 |
| 伊藤副会長 | やはり指標に説明書きが入ると良いと思います。今のご説明があるとわかりやすいと思います。 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|---|
| 市長 | <p>今回の市民会議で我々行政として良い意味で衝撃がありました。市民会議で市政に対して休みの日に意見を言おう、関わろうとしている方が、実際には自治会に必ずしも入っていないという状況でした。市内の特徴でもありますが、駅前等でマンションが建ち、そこで管理組合をつくり、自治会と位置づける必要はないとなると、やはり町の形態の変化とともに減っていくこととなります。自治会を無理に増やしていくというより、ある程度減っていくことを前提としながらも、プレイヤーを増やし、居場所や活躍の場所をつくっていく方がまちの経済の変化にはふさわしい形ではないかと思っています。単に数を増やすというのであれば、管理組合を自治会化すれば増えますが、そういう問題ではないだろうという判断・議論がありました。</p> <p>ただ、全体的に市はなぜこういうことをしているのか、説明を全部入れるかも含めて考える必要があると思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>自治会は住民の自主的な団体なので、トータルの加入率であれば、市がこれだけ環境づくりをやったということにもなりますが、やはり自治会の加入率をストレートに指標にするというのはどうなのでしょう。最初の指標で包括しているということがわかればいいかなと思います。</p> <p>では重点戦略3で何かあればお願いします。</p> <p>35ページの取組内容1「日頃からの災害への備えや犯罪の未然防止の意識を高めるため、情報提供のあり方を見直します。」ですが、これは施策の方向性に記載する内容だと思います。どう見直すのかをイメージできるようにしてほしいです。内容が固まっていないとしても、読んだ人がわかるようになるといいなと思いますが、何か具体的に考えておられるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>今考えているのは、ICTを活用しながら、市民の方にどう情報を提供できるのか、してもらえるのかを検討したいのですが、具体的に導入といった話まで至っておりません。ご指摘の通り具体的な取組内容をかけておりません。</p> |
| 福嶋会長 | <p>住民の皆さんと相談しながら、ということでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>住民の方々と進めていくというところまでは決まっておらず、市民会議の中で、こういう話が出たという段階です。</p> |
| 福嶋会長 | <p>まだ中身がないとすれば、「情報提供のあり方を、住民の皆さんと協議をします。」などはどうでしょうか。</p> <p>自主防災組織のようなものはありますか。それに限らず、住民の皆さんで取り組んでいる方々もおられるでしょうから、「情報提供のあり方を住民と一緒に協議する」とすれば具体的な取組みになるかと思うのですが。</p> |
| 市長 | <p>最初に市民会議の皆さん方からいただいた意見の中でも、意識をつくるために地域の繋がりを作っていこうというような提案もありました。情報提供</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| | <p>がうまくできていないという課題については、方向性が見えない記述になってしまっています。</p> <p>防犯のほうは、市として最終予算協議中ではありますが、川西警察が迷惑電話の防止のための録音機能付きの電話の貸出を川西市も猪名川町も含めて連携できないかと内部で協議をしています。取組内容で防災・防犯と両方書いてしまっているところが苦しさになっている気がします。</p> |
| 福嶋会長 | <p>具体的な取組みを市民が読んで頭に浮かぶようなものにしてもらいたいと思います。</p> |
| 三坂委員 | <p>今空き家対策をしているものの、非常に空き家が増加していると思います。その中で、例えば、単身高齢者が施設に入られるとすぐに空き巣に入られるという被害が多くあります。いかに地域で被害を防ぐことをするかということを盛り込んでいただいたらどうかと思います。</p> <p>それから、孤独死も多いため、対策をすることが安全で安心して暮らせるまちにするには必要だと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>最終案の詰めの段階なので、ここにこういうことを入れるということを実体的にいただけるといいかなと思います。</p> <p>それでは最後までを通して、言っておきたいことがあればお願いします。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>先ほどの35ページの取組内容 ですが、市民会議の提案書を見ていると、「自主防災組織が消防団から訓練を受ける」などの具体的な提案が入っています。これは最終的に「等」書きをどこまで入れられるかになりますが、一言があった方がいいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>消防団と自主防災組織の連携強化といったことは、言えないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>自主防災組織と消防がどこまで連携していて、どういう展開をしようとしているのかを把握しておりません。申し訳ありません。</p> |
| 福嶋会長 | <p>ではそれも含めて、具体化をお願いするということによろしいでしょうか。</p> |
| 山本委員 | <p>35ページの取組内容のところが防犯・防災ですが、結構防災に偏っている印象を受けました。子どもへの犯罪も多発している中で、何か犯罪に対しての取組みが書いてあると安心だなと感じました。</p> |
| 福嶋会長 | <p>それは どちらにもということでしょうか。それともほかのところで改めてということでしょうか。</p> |
| 山本委員 | <p>空き巣は先ほど三坂委員がおっしゃったような空き巣被害対策だと 防犯になるのかなと思うのですが、市民全体の防犯というところで行くと、</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|--|
| | <p>施策1の取組内容にいずれか盛り込むような形にはなるかなと思います。から までである中で「防犯」と出てきているのが のみで偏りを感じるので、例えば先ほどの電話の話や、子どもの被害対策を盛り込んでいただいたら偏りがなくなるというふうには感じました。</p> |
| 福嶋会長 | <p>ではそれも含め、検討していただいてよろしいでしょうか。</p> |
| 三坂委員 | <p>空き巣被害にしても行政、NPO、自治会等が連携して情報共有することが非常に重要です。情報共有することによって減らすということも他市でありますので、防犯対策として連携するというような言葉を入れてはどうかと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>それは のところですね。いろいろなものが課題になっていますが、場合によっては と の2つに分けるというのもひとつの方法かもしれません。</p> <p>あとは、36ページの取組内容 が「市民が安心して相談することができるよう、居住している住宅の将来の処分・利活用が相談できる、空き家・空き地相談窓口を定期的開設します」となっていて、将来の利活用が相談できるという内容ですが、市民が安心して相談できるようにするために、将来の処分や利活用が相談できることが大事なのですか。</p> <p>安心して相談できるし、将来の処分や利活用も相談できるといった並列の記載に見えたのですが。</p> |
| 事務局 | <p>2段落目の「居住している住宅の将来の処分・利活用が相談できる」というのは、取組みの中身です。相談しやすいという意味で言葉を付け加えているのですが、そこは表現を簡単にしたほうがわかりやすいのかなと思いました。</p> |
| 福嶋会長 | <p>「処分・利活用が相談しやすい窓口を定期的解説し、安心して相談できるようにします」とか「安心して相談できるよう定期的開設します」という意味ですよね。修飾語が長くなるのを避けてください。</p> <p>また、 で「リフォームや解体に対する助成制度を活かすなど」というのは、既に助成制度があるわけですよね。「活かすなど、空き家や空き地の利活用を進めます」というと、今までと変わらないですから、新たな取組みとしてはこの助成制度を特にPRして、ということですね。</p> |
| 事務局 | <p>おっしゃる通りです。この部分の工夫が必要だと思っています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>PRしていくということを積極的に前に出したのですね。</p> |
| 事務局 | <p>そうですね。まずそれを言いたいです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>37ページの「住宅地から歩いて行ける施設が少ない地区があり」というのは、市民会議から話があったということでしょうか。</p> <p>何の施設のことでしょうか。よくわかりませんね。前の案のように「駅前</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| | から離れたニュータウンなどでは近くに歩いて行ける施設が少なく」と言ったほうが意味はわかる気がします。 |
| 事務局 | 歩いて行ける範囲に公共施設が少ない地区があるということです。 |
| 福嶋会長 | これも文章を考えてください。 |
| 伊藤副会長 | 37ページの取組内容 のグリーンスローモビリティの説明が次ページにあります。取組内容 は「など」書きになっています。確か過去に一度実証実験を実施してうまくいったという話だったと思いますが、何かそこがわかるような言葉がないと、これからの実情に合わせた新しい交通手段というイメージがつきにくいと思います。なぜ川西の中にはゆっくり走る車が必要なのかと疑問に思いました。 |
| 市長 | これからの公共交通は、既存の路線は能勢電鉄や阪急バスにやっていただきます。ただ、運転手が不足し、採算が合わないということで撤退傾向がありますので、公共交通として採算がとれない隙間のところは、そういった新しい地域を巡回するようなものを作っていきべきではないかと考えています。グリーンスローモビリティを特出ししたのは、やはり他の既存の公共交通と違い、タクシー事業者と被ることもありませんので、独自の方法として導入したいという提案です。 |
| 福嶋会長 | 説明書きのところに盛り込んでください。 |
| 伊藤副会長 | 「交通空白地帯の解消に向けた新しい交通手段としてグリーンスローモビリティなどの導入を進める」というのはどうか。 |
| 市長 | 法律上の定義で公共交通の空白地帯がバス停から700メートルですが、実は川西市にはほとんどなく、公共交通はあると認識をされています。ただ、坂道が多くて移動・外出が難しいといったすき間の部分を我々は埋めていきたいと思っています。公共交通の空白地域となると事実と異なります。 |
| 福嶋会長 | 「公共交通が不便な地域」というのは大丈夫ですか。 |
| 市長 | 不便な地域というのは現実でありますので大丈夫です。 |
| 福嶋会長 | それを本文に入れてもらったほうが、わかりやすいと思います。よろしくお願いします。 |
| 伊藤副会長 | 指標について新しく設定されるもので、目標数値がまだ決定していないということですが、平成31年度分はこれから測定して、目標値が入ることでしょうか。本来は今、目標があってもいいのかなと思います。取ってみたいと相場感がわからないので、測定結果によって目標値が定まっていくという考え方でしょうか。 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| 事務局 | 後者のほうで、まず市民の方がどう思っているかを測り、後に目標を設定したいなということです。 |
| 伊藤副会長 | 今年度中に総合戦略が公表されるときには、ここが埋まって目標値も定まっているということですか。 |
| 福嶋会長 | 目標値はどうしても定めるのでしょうか。 |
| 事務局 | 新設項目についても目標設定をする予定です。 |
| 福嶋会長 | それは、ずっと数値を持って分析しているわけではなく、今測定して、何%かを上乘せするだけの話ですよ。それを少しでも伸ばしていくというのが目標になって、適当にやると他の目標値まで重さがなくなる気がします。新設の部分は、これをどう伸ばしていくかに取り組むという形でもいいですよ。 |
| 事務局 | 検討させていただきます。 |
| 福嶋会長 | 新設でも明確にこのぐらいは確保しようと言えるものは絶対駄目だと言うつもりはないのですが。あまりにも適当に上乘せしたようになるのであれば、そういうものはむしろ無くてもいいと思います。 |
| 市長 | ご指摘の通り、アウトプットの部分であれば分母から考えていけばいいのですが、市民実感調査というアウトカムで、どこが繋がればその数字が上がるのかわかりにくい指標に関しては、整理をさせていただきます。 |
| 三坂委員 | 38ページが一番下、「空き家マッチング制度に登録している空き家件数」には、空き地は入っていないのでしょうか。 |
| 事務局 | 今回は空き家のみを想定した指標にしています。 |
| 三坂委員 | その理由は何でしょうか。国土交通省では来年度、空き地に力をいれています。空き地に対しても、市民の意識は高まっていくと私は考えているのですが、そのあたりはどうでしょうか。 |
| 事務局 | 取組内容の36ページのところで、「空き家・空き地の利活用をすすめます」ということで我々としても考えていけない課題だと思っています。ただ空き地の利活用をどういう形で進めていくかというのが見えていない状況で、指標が設定できていません。 |
| 三坂委員 | マッチング制度というのは、空き家バンクをイメージされているのであれば、空き地も含めても影響はないかと思いますが。 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| 事務局 | <p>空き家と空き地は、セットで考えていかないといけないとは我々も思っています。空き家バンクというよりは、空き家の所有者の方や空き家を活用したいという方々をマッチングしていきたいと思っています。その実態を見ながら、おそらく空き地の話も出てくるかと思えます。そこを含めてこれから展開を検討していきたいということで今回指標は設定していません。</p> |
| 福嶋会長 | <p>そうすると、取組内容のところの36ページ ですが、「空き家のマッチング制度を導入して、空き地についても、それを見ながら検討します」みたいなことを入れてもらうと方向性が出ると思います。</p> |
| 市長 | <p>現場と話をしていると、やはり予備軍でもあることから、まず空き家のほうを進めていきたいという話が出ています。利活用できる土地は売れておりますので、利活用をしにくい土地が残っている状況です。空き家の場合は、本来利活用するべきところもできておらず、段差があるというふうに我々も感じています。</p> <p>まず第1弾として空き家ということで、問題意識いただいた部分は調整したいと思います。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>空き家を減らすというところまでを目標にできませんか。確実に空き家を減らしたいということが取組内容に書かれていると思いますが。</p> |
| 事務局 | <p>ご指摘いただいた部分、担当部局と協議しました。なかなか空き家を経過的に減らしていく、或いは見えるようにこの3年間で減らすというのが難しいため、その辺りをマッチングでどう解消していくのか、相談に乗りながら状況や数字を見たいということで設定しております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>これから始めるので、どれだけ減るかという指標はできないとしても、将来はそれが課題なわけですね。マッチング制度がどのくらい有効か、どのくらい減るかというのが本来の指標ですね。まずは始めるというところから行きたいのでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>今回我々の重点としてやりたい空き家対策は、やはり予防していくということです。放っておけばただただ増えていくものを、まず抑えるということが、実質的には減らすということにも繋がります。まずその抑制をするために、相談窓口やマッチングという点に力を入れたいと思います。減らすとなると、除却などはどうしても名義などの懸念もあるため、今回はこういう数字にさせていただきます。</p> |
| 福嶋会長 | <p>抑制するにしてもその数値は目標になるわけで、意識しながらということですね。</p> <p>それでは重点戦略4にいけます。何かありますでしょうか。</p> |
| 片山委員 | <p>41ページの取組内容のいちじくの と の部分なのですけれども、修正前の「いちじく、桃、栗などの特産品の普及促進」が分けられたのかも</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| | <p>ないですけども、内容的にこれは一つでもいいという気はします。 「いちじくを始めとした特産品の商品開発等の魅力向上や、特産品の販売場所の情報提供等と官民連携で取り組みます。」のような感じでどうでしょうか。</p> |
| 福嶋会長 | <p>分けた理由はあるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>は川西市には特産品はあるけどもどこに売っているかがわからないという市民の声があり、そこをわかりやすくお伝えする手段がないかなというのを1つにしました。もう一つの「官民連携で」というのは、特産品を商品開発して、魅力を高めるという部分を官民連携というのを一つのくりとしたいということがあって分けましたが、一緒にさせてもらいます。</p> |
| 福嶋会長 | <p>そうすると を一緒にしてもらってどちらも官民連携ということですよ りしいでしょうか。 細かいことを言えば、特産品の「商品開発などの魅力向上」の「の」は余分ですよね。 42ページの取組内容の ですが、これも施策の方向性であって、具体的な取り組みが見えてこない気がします。何か具体的に出せませんか。 からまでの事が中身のように思います。施策の方向性にそのままうつしてもいい様に思いますね。 で何か想定しているのですか。</p> |
| 市長 | <p>具体的には、例えばアサヒ飲料さんの三ツ矢サイダーのCMで、川西のPR・プロモーションがあり、そういうものが協力できないかということで、一本立ち上がりました。ご指摘の通り、それだけで何を言っているのかわかりませんので、例えば本市出身の著名人や民間事業者のご協力をいただいて、まちの魅力を高めるような取組みや発信をする制度をつくっていくことで、我々の想いや市民の皆さんの想いをに入れていけるのではないかと思います。民間事業者は我々としても入れたいという想いがあり、1で盛り込むということでご了解いただければと思います。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>先ほど市長がおっしゃったように施策の方向性に入れるとともに、取組内容 に「民間事業者」を付け加えてもいいと思います。 ここからは個人的なこだわりになるかもしれませんが、地域資源の新たな魅力の掘り起こしについて4班の中で、今まで気づかなかったものを自分達やっいていこうという話が多くありました、具体的に何か現状であるわけではないし、施策に入っているサポート隊のようところで拾えるのかもしれませんが、方向性として入っているのが良いと思いました。</p> |
| 福嶋会長 | <p>これも方向性に入れておいて、市長がおっしゃったように に民間事業者も入れて強化をするということですね。</p> |
| 三坂委員 | <p>44ページの参考指標の数字です。 市公式SNSのフォロワー数、目標値4,080人とか、市公式SNSのリーチ数</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| | 213,000人とか、中途半端になっていますが何か理由はあるのですか。 |
| 事務局 | 今の公式SNSの伸び率がございまして、それを反映しています。 |
| 三坂委員 | そこは分かりやすい数字ではだめですか。 |
| 事務局 | 担当課と調整させていただきます。 |
| 福嶋会長 | 4,080という根拠について、何かの計算で出てきたと思いますよね。 |
| 伊藤副会長 | 同じく参考指標の一つ目のふるさと納税の返礼品についてですが、選ばれた特産品の数と書いてあるので、市が選んでいるわけではないというふうに読めます。寄付される方が返礼品として選んだ、という意味ですか。 |
| 市長 | 主語がわかりにくいですが、ふるさとづくり寄付金をした時に返礼品として選んだ特産品の数ということです。 |
| 福嶋会長 | この数というのは種類のことですか。 |
| 事務局 | 1人2つ選ばれる方もいるのですが、選んでいただいた個数、商品のトータルです。 |
| 福嶋会長 | 例えば1つの商品に人気が集中して100人がAを選んだときは1ですか100ですか。 |
| 事務局 | それは100です。 |
| 福嶋会長 | そうすると、ふるさと納税をやってくれる人が増えるかどうかという話ですか。増えれば特産品もたいていは選ぶだろうから総数は増えますよね。 |
| 事務局 | 実際に川西市の選ばれている品で言うと特産品でないものも多くあります。こういうものを提案でいただくような、それを進めて指標として入れさせていただいたということです。 |
| 福嶋会長 | 返礼品を特産品に限ってしまえば増えるじゃないですか。特産品じゃないものはどんなものが選ばれているのですか。 |
| 市長 | 一番多いのはこども用の家具をつくっている事業者様がございまして、そこが圧倒的にシェアを占めております。 我々がここでイメージする特産品というのは、いわゆるいちじくや桃を使っているものをイメージしているのですが、返礼品の中には実はゴルフの利用券とかもございまして。ご指摘の通りそれを全部絞ってしまえば、特産品の数が伸びるというのはありますが、ただ実際、寄付をされる方の分析をすると、まだ残念ながら、何に寄付を使って欲しいという方よりも、サイトを見 |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|---|
| | <p>て商品を選んでこられた方が多いです。総額の勝負をするというよりも、我々として魅力的なものにしていきたいと思っています。市民会議の中でも例えば市内の農業をふやして欲しいとか、生産額をふやして欲しいといった意見がありました。ふるさと寄附金における返礼品の特産品について、数が上がっていくことが望ましいだろうという議論をしたと聞いております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>家具よりもいちじくを売り出したいという市としての意思ということではないですか。</p> |
| 市長 | <p>我々としても、例えばいちじくの商品が家具を凌駕するというよりも、いちじくを皆さんにお求めいただき、特産品を選んだ人が増えるということが望ましい手法だと思っています。</p> <p>家具やゴルフ場の利用権を排除してということではなく、特産品は特産品でしっかりやっていただきたいというイメージです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>全体が増えることによっていちじくも増えてほしい、増えた分がいちじくに行き渡って欲しいというようなイメージですね。個人的にはそういう返礼品には根本的な問題があると思いますが、言われていることはわかりました。</p> |
| 片山委員 | <p>43から44ページの取組内容ですけど、のところで「清和源氏をイメージした統一的なデザインや色の市内案内表示を設置」というものが、修正後は無くなってしまっているのですが、これはダメになったのですか。</p> |
| 事務局 | <p>42ページに移して整理させてもらっています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>施策3で「市の情報を効果的に発信し」とあります。これは、例えば子育ての市の情報とか、仕事等の情報とか、起業をする上での情報とかそういうのは、ここに入っているのですか。</p> |
| 事務局 | <p>そういった部分も想定はしていますが、ここの部分では、現状ある部分を皆さんに伝える、それを市民の方々と共有したいという目的と、働くといった部分も次の段階として発展的に検討していくという流れで考えております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>例えば子育てに関していろんなことをやっているけれども、それが必要な人に伝わっていないということがありましたよね。それについて、戦略4で言っているということになるのですか。重点戦略1の重点施策1の で話したから戦略4ではないのでは。それとも情報発信のことはここでまとめて言っているのですか。</p> |
| 事務局 | <p>そのあたりも含めて全体的に戦略4で伝えています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>全体的なことを戦略4でもう一度言っているということですね。そうすると重点戦略4の愛着の持てるまちづくりのリード文について</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 事務局 | <p>は…。</p> <p>体の部分での情報発信が愛着に繋がっていくようなリード文に検討させていただきます。</p> |
| 福嶋会長 | <p>最初からの問題ですけど、ここはいろんな文化資源や自然とか、本来川西市が持っている良さをちゃんと発信して知ってもらおうということですよ。魅力とか川西市が持っている大切な資源を再発見してもらおう、知ってもらおう。それで愛着に繋がっていくための情報発信、ということなのですよ。子育てサービスが必要な人に伝わっていないから、ちゃんとそれを伝えようっていうのは、重点戦略1なのか4なのか両方なのか、ちょっと最後までストンと落ちないなという気がします。</p> <p>指標だと「必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合」「SNSのフォロワー数」というのは、子育てとか福祉だとか、いろんな市の行政サービスの状況を見たいからSNSを見るわけで、文化とか清和源氏よりもはるかに子育て情報を取りたい方のほうが占める割合が大きい気がします。</p> <p>必要な市の情報が入手できると感じるというのは、子育てをやっている人は子育てに関するサービスの情報を入手できるかどうかというところで判断すると思います。だからこの項目がどうもすっきりしない。</p> <p>その重点戦略がそもそも両方だと割り切るなら、重点戦略の4の冒頭のところにちゃんとそれを書き込むしかないと思うのですが、重点戦略が2つあるようにも見えます。</p> |
| 伊藤副会長 | <p>最初の案では、情報発信の方だと説明がありました。その後、文化・歴史のところとあわないという議論が推進会議であり、その結果文化・歴史が入って、今度は逆に情報が押し切られた形になっていると思います。</p> <p>この点について一番初めに、情報発信というのは5つ目の重点戦略にあたるだろうと言っていました。</p> <p>なかなかそれを独立させるのは難しいところもあるので、この4の中に入れるという整理で対応されていると思います。このタイミングでの修正となると、リード文に、入れていくということになりますね。</p> |
| 市長 | <p>おっしゃるとおりです。ただ情報発信については、共通の大きな課題であるということと、それを共通の課題だからといって全く消してしまうということにもならないということで、最後情報共有というところで書いています。</p> <p>前段1・2が魅力を知って磨いて、施策の3が最後共有をしていくというところが一つ多いのかなと。対外的なところの指標が今見つけられてないということもあり、指標だけを見ると、市民にわかりやすくお伝えすることが、重点戦略4の目標のようになっているというのは会長のご指摘のとおりだと思います。リード文は検討させていただきたいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>リード文は、市の情報がいろいろ取れて、アクセスできれば愛着ができてすいとかそういう理屈をたてるのでしょうか。全体のタイトルは「愛着の持</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|--|
| | <p>てるまち」ですよね。重点戦略5を作るっていうことではなくて、1から4まで通した共通のものとして、情報発信でプラスアルファのところをもう一つ作るとすっきりしてわかりやすいと思うのですが</p> <p>重点戦略1から4の共通の部分として、情報発信というのをプラスアルファにする。重点戦略5にするのではなくて、「どの戦略にも大切なこととして、情報発信をしていきます」というようなことをくっつけて、ということ</p> |
| 伊藤副会長 | <p>イメージでいうと、施策の3の前に、共通項目としてのリード文が数行あり、この重点戦略4は、施策2で終わっている。3については共通の項目にして、重点戦略1～4について行政が情報発信していく、というような形でしょうか。</p> |
| 福嶋会長 | <p>施策3だけ色々一緒になっていますね。地域資源の話も一緒になっている。</p> |
| 市長 | <p>そもそも最後の施策3のところ、が情報を入れるということになっておりますが、の基本的な考え方というのは、みんなが発信もできるようになるべきだろうという議論がありました。案としてはリード文を変えるという方法が一つと、施策3を切り離して何らかの形でつくるという方法ですね。それから、施策3のことを戦略全体の一番前のところに、共通の事項として我々が大きくこのプロセスの中で感じたものは、こののところが一番大きいところでありますので、そこを踏まえて、は全員がイメージとしては発信者になるというそういう作りこみにする。選択肢としては3つあるのかなと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>は、全員が発信者というのは、文化的な魅力だけではなくて、子育ての情報だとか、企業だとか、そういう分野でも大事ですよ。みんなが発信者なら。ここに閉じ込めるのはもったいないと思います。</p> <p>前文のところ、両方ですということにすればいいかもしれませんが、それは分かりにくいと思います。</p> <p>愛着を持てるということは、いろんな行政情報も含めて、まちの情報をみんなが共有し、みんなが発信し合うということが、まちの愛着に確実に繋がる、みたいな前文にするのですかね。その辺は検討を任せるということに推進会議としてはするという事になります。</p> <p>この情報発信の扱いをどういうふうに整理するかというのは、ここで全部結論を出すのは時間の制約もあるので、今の議論を踏まえて市のほうでもう1回整理をして判断して欲しい、ということによろしいでしょうか。</p> <p>重点戦略4に限らず、トータルでもう一度ありますか。</p> <p>それでは最終案についての議論は終えて、答申案についてです。答申書を配布していただいてよろしいですか</p> <p>最後のところ、希望的観測で、ここでまとまったということ想定して「総合戦略最終案は基本的に了解できます」にしているのですが、今日の議論を</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|--|
| | <p>踏まえると、「基本的に了解できますが、各重点戦略の取組内容については、さらに具体的にわかりやすくするよう要望します。」、もう一つ、「また、各重点戦略に共通する情報発信のあり方については、構成上の整理が必要と考えます。より明確になるよう、構成を整理してください。」になるでしょうか。何か良い文章ありますか。</p> <p>最後に、「さらに総合戦略のその実行にあたっては」のところに続く感じですか。全体通して、皆さんからお願いします。</p> |
| 三坂委員 | <p>まず一番目からいきます。</p> <p>無作為抽出の中から参加した市民同士が議論しということで、どれぐらいの数を抽出し意見交換をしたかというのは盛り込んだほうがいいのかという気はしています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>2,000人を入れるということですか。</p> |
| 三坂委員 | <p>そうですね。数字があったほうが、より具体性があるのかなというのが一点目です。</p> |
| 福嶋会長 | <p>2,000人が議論したように誤解を受けるので実際に参加した人数を書いた方がいいということですか。</p> |
| 三坂委員 | <p>それは検討していただければ。具体的数字があったほうがいいのかと思います。2,000人の中から抽出した200人が参加したのであれば200人とか。</p> |
| 福嶋会長 | <p>市民会議は何人でしたっけ。</p> |
| 事務局 | <p>参加申し込みは163人ですけれども、各回によって参加者数はいろいろです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>「無作為抽出の中から参加した163人」ということですか。</p> |
| 事務局 | <p>163人の方から返事をいただいております。</p> |
| 福嶋会長 | <p>「無作為抽出の中から参加した163人の市民同士が」ですかね。</p> |
| 三坂委員 | <p>いいと思います。</p> <p>もう1点、3番「地域課題の解決に行政だけで取り組むのではなく、NPOや企業などと連携・協力していかねばなりません」とありますが、その中にはやはり住民を入れるべきだと思います。「NPOや企業、事業者、住民、と連携協力していかなきゃならない」というような方が。市は住民主体だと思っています。</p> |
| 福嶋会長 | <p>住民を入れるということですか。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-------|---|
| 三坂委員 | そうですね。要は「市民」を入れるということです。 |
| 福嶋会長 | 「市民、NPOや企業」ですか。 |
| 三坂委員 | NPOや企業が事業者ですね。 |
| 福嶋会長 | 企業が事業者。NPOや企業を合わせると事業者です。 |
| 三坂委員 | じゃあそれは企業でいいですね。 |
| 福嶋会長 | NPOや企業、市民を入れるのであれば市民が最初にきたほうがいいですね。「市民、NPOや企業など」と入れますね。 |
| 伊藤副会長 | <p>おそらく、この答申はすべてを網羅するというものではなくて、あくまでも市が実施した今回の総合戦略の策定に対してのものになります。先ほどの2,000人と163人という数字は、実際には総合戦略の中の付録的なところで入ってくると思います。</p> <p>そのため、私は読んでいて違和感はありませんでした。</p> |
| 福嶋会長 | 市民会議の説明は別のところで十分にしてもらおうだろうから、ここで人数までいいかっていうことだと思いますが。 |
| 三坂委員 | 要するに、この会議が市長に対して答申を出すので、どれくらいの人数かというのは大きな部分かなと思います。これだけの人数がやったんだというのを示すのが非常に重要なのかなと思います。 |
| 福嶋会長 | 163というだけだと、いろんな議論をしたってことが言い尽くせないかなと思いますね。163人が6回にわたってとか書きだすと、いろんなことが書きたくなくてきそうだなと思うのですが。 |
| 三坂委員 | 「多数の市民が」にすれば・・・ |
| 福嶋会長 | <p>「無作為抽出の中から参加した多くの市民同士が熱心に議論し」でいいですか。</p> <p>それからNPOや企業の前に「市民」と入れるということにしましょう。</p> <p>最後のところはどうですか。</p> |
| 伊藤副会長 | 今日時点での総合戦略案への答申なので、先ほど会長がおっしゃった点が入ってくるということですよ。 |
| 福嶋会長 | これを受けて、最終案からまた変わって、完成になるわけですね、決定になっていく。それに向けての文章ということです。 |
| 伊藤副会長 | 普段の答申の形式から行くと、最後は微修正に近いので、それが直ったも |

| 発言者 | 発言内容等 |
|------|---|
| 福嶋会長 | <p>のが、直ったか直らなかったかは別として、直ったという前提の中で答申を出すという場合が多いと感じました。</p> <p>そうするとここは「基本的に了解できます」だけにしといて、これから直していただくやつを委員に送っていただいて、完璧に皆が了解するかどうかは別として、こんなものだよ、今日の議論を反映してもらっているよねって確認できるようにして、答申としては「基本的に了解」でいきますということですよ。</p> <p>とりあえず今こっちを直すという作業に関してだけ言えば、ここで答申するとなると、そのほうが楽ですよ。それでもいいですか。</p> <p>具体的にどう直すかはまた委員と協議というか、やりとりはさせていただくという前提で、基本的に今の答申書の文章でいくということでしょうか。2点だけ直していいですか。</p> |
| 三坂委員 | <p>4番の3行目「子育て中の親や小さな子どもに優しいまちは、高齢者にも障がい者にも優しいまちになる」という視点が大切です。」というところの高齢者の障がい者にも優しいまちになるという視点が大切ということは、戦略の3ページで直したように、「子どもから高齢者や障がいのある人もない人にも優しいまちになる」という文章のほうがリンクしていいと思います。</p> |
| 福嶋会長 | <p>ここは最初に子育て中の親や小さな子どもと言っていて、それに高齢者や障がい者を加えているのですよね。ここもそうすると前から直してしまうということでしょうか。「子育て中の親や小さな子どもにも優しいまちは」のところを無くし、「子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も」とするというのでしょうか。</p> |
| 三坂委員 | <p>このままでいいです。</p> |
| 福嶋会長 | <p>それでは委員からの修正を2点入れていただいて、ここで市長にお渡しするということにします。</p> |
| 事務局 | <p>皆様お待たせいたしました。</p> <p>本日いただいたご意見を踏まえ修正した答申をお手元に配付しております。</p> <p>福嶋会長より市長へ答申をお願いします。</p> |
| 福嶋会長 | <p><会長より市長へ答申></p> |
| 事務局 | <p>福嶋会長ありがとうございました。それでは、本日の推進会議の閉会に当たりまして、市長の越田よりご挨拶申し上げます。</p> |
| 市長 | <p>ただいま答申をいただきましてありがとうございます。</p> <p>7回にわたって、当初の想定よりも長い時間、長い回数ご協力をいただきましたこと、まず心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> |

| 発言者 | 発言内容等 |
|-----|--|
| | <p>答申をいただけると思って私が待機していた日に中間答申をいただいたり、最後一言一句、ここまでこだわりを持って関わっていただいた審議会というのは、私はないと自負しております。また、たくさんの市民を巻き込み、たくさんの職員も関わって、ここまで熱量を持った計画というのは今までなかったし、全国的にもないと私は自負をしております。</p> <p>そういった意味で皆さんにご協力いただいたことに感謝をしておりますし、私としても皆さんにお願いをして本当に心からよかったと思っています。</p> <p>ただ、私自身が行政の一員としてやってはいけないことは、これを単なる冊子にはしてはいけないということです。策定するときは拘るけれども、3年間実際やって達成したときに泣くのか、達成できなかつたら悔しくて泣くのかどうかということです。これは達成しても達成できなくても、私達これに関わった人間がみんな終わった後にやり切ったと涙を流すような、そんな行政運営を私はしていきたいと思っています。市民の皆様や関わっていただいた皆さんの顔を常に思い浮かべながらこの計画を実行していく、ここにしっかりとこだわっていきたいというふうにしています。</p> <p>いただきました宿題の部分は修正をさせていただきたいとは思いますが、私たちにとっても大きなご提案をいただいたと思っています。</p> <p>しっかりと我々も臨んでいきたいと思いますが、行政だけでは、どうしても不十分な点があるなということを私自身は感じながらやっております。実行段階におきまして、皆様にたくさんのご意見、提案をいただければと思いますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。</p> |
| 事務局 | <p>皆様、これまで7回にわたり、お忙しい中、推進会議ご出席いただき、活発なご議論、貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。誠にありがとうございました。</p> |